

# 「平成26年度独立行政法人医薬品医療機器総合機構契約監視委員会（第4回）」

## 議事概要

### I 日 時

平成27年3月16日（月）14：55～17：25

### II 場 所

独立行政法人医薬品医療機器総合機構6階 会議室1～3

### III 出席委員（敬称略）

中村 洋（慶應義塾大学大学院 経営管理研究科 教授）

松田 憲二（有限会社マツダ・ビジネス・コンサルティング 代表取締役）

和田 義博（公認会計士）

疋田 英一郎（独立行政法人医薬品医療機器総合機構 監事）

大塚 美智子（独立行政法人医薬品医療機器総合機構 監事（非常勤））

### IV 議 題

- (1) 平成27年4月から6月末日にかけて入札公告又は契約締結を予定している案件にかかる事前点検
- (2) 一者応札・応募等改善に向けての取組について  
(2か年度連続して一者応札・応募となった案件のフォローアップ及び公募等における契約額についての報告)
- (3) 前回までに審議した調達予定案件に係る契約締結状況

V 議事内容

- (1) 平成27年4月から6月末日にかけて入札公告又は契約締結を予定している案件に係る事前点検及び一者応札・応募等改善に向けての取組について（2か年度連続して一者応札・応募となった案件のフォローアップ及び公募等における契約額についての報告）

標記について審議及び報告が行われた。

委員からの主な質問・意見及び当機構の回答	
質問・意見	回答
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 契約方式の妥当性について明確化すること。 （例）一般競争入札において、最低価格落札方式ではなく総合評価落札方式とすることについての妥当性。</li> <li>・ 随意契約とすることが必要な場合の明確化を行い、形式的な事前公募の見直しの検討を行うこと。</li> <li>・ 低い落札率の案件については、予定価格の算出根拠を明確にし、事後検証も行うこと。</li> <li>・ 一者応札となった際の要因分析については、入札不参加の業者へ電話等での確認も行い、より真因の把握に努めること。</li> <li>・ 審議案件の内容理解の促進及び、審議の迅速化に資する資料作成に更に工夫すること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ご意見のとおり、努めて参りたい。</li> <li>・ ご意見を踏まえ、 検討して参りたい。</li> </ul> <p style="text-align: center;">} ご意見のとおり、 努めて参りたい。</p>

- (2) 前回までに審議した調達予定案件に係る契約締結状況（報告事項案件）

標記について報告が行われた。